



小さな交流会や対話交流セッションに参加の際は、
誰もが気持ちよく参加できるよう、以下のことに留意してください。

- ① 聞いた話は外で話さない、SNS等で発信しない
- ② 相手の話を批判・否定しない
- ③ 誹謗中傷、暴力行為は禁止
- ④ 話す時間を独り占めしない
- ⑤ 聴いているだけでもOK
- ⑥ 営業活動、政治活動、宗教団体などへの勧誘はご遠慮ください

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策について

【参加にあたって】

- マスクの着用は、個人の判断に委ねます。
- 新型コロナウイルスに限らず感染症拡大が生じた場合、政府や自治体・会場から主催者に注意喚起等が行われた際は、会場にて感染対策へのご協力をお願いする場合があります。
- 予期せぬ自然災害の発生等によってやむをえず開催を延期または中止する場合があります。
- 上記の開催中止や取材等については、前日までにひきこもりUX会議オフィシャルブログにてお知らせします。

運営準備および取材について

- 本イベントでは新聞・テレビ等の取材を受け入れる場合があります。その際は参加者の方々のプライバシーならびに場の安心・安全に細心の配慮をします。

※車いすの利用など、配慮が必要な場合は開催市の担当課まで事前にお申し出ください。

● 問合せ先 ●

大阪府福祉部子ども家庭局子ども青少年課 TEL:06-6941-7681

① 講演会 [令和5年10月5日(木)開催]
交野市 福祉総務課
TEL:072-893-6400

② UXラウンジ [令和5年11月17日(金)開催]
泉大津市 保険福祉部福祉政策課
TEL:0725-33-1131

● 運営団体 ● 一般社団法人ひきこもりUX会議とは

ひきこもり
UX会議



不登校、ひきこもり、発達障がい、性的マイノリティの当事者・経験者らによって発足。当事者の視点から「生存戦略」の提案・発信を続けるクリエイティブチーム。2016年6月から開催している「ひきこもりUX女子会」は、2023年5月までに全国各地で170回以上開催し、のべ5,000名以上が参加している。

✉ info@uxkaigi.jp
🌐 https://uxkaigi.jp/
📍 @uxkaigi

本事業は「令和5年度(令和4年度からの繰越分)新型コロナウイルス感染症セーフティネット強化交付金」を利用し、ひきこもり支援体制構築加速化事業として実施しています。

人々が交差し、それぞれの歩みを進めるための
ひきこもりにまつわる合流分岐点

JUNCTION

「ジャンクション」

「ひきこもり」をテーマにした講演会、 対話交流イベントを開催します。

「ひきこもり」をテーマにした講演会、対話交流イベントを開催します。

ずっとひきこもっていてどうしたらいいのかわからない、
身近な人が「ひきこもり」で心配だけど、どのように接したらいいのかわからないなど、
「ひきこもり」について正解が見えず悩んでいる人は少なくありません。

この秋、大阪府内で「ひきこもり」をテーマにした講演会と対話交流イベントをそれぞれ開催します。

外からは見えづらい当事者の思いを聞くことや、似たような状況にある人と話をすることで、
ひきこもりの当事者、ご家族、支援者それぞれの気持ちがふと軽くなるかもしれません。

当事者による講演や参加者同士の交流を通じて、
誰もが安心して生きられる社会づくりのために一緒に考えてみませんか。

講演会

講演会

当事者が語る 「ひきこもり」

日時 10/5 13:30-15:30
2023年 木 [開場 13:00]

会場 交野市立保健福祉総合
センター(ゆうゆうセンター)
[大阪府交野市天野が原町 5-5-1]

体験談と対話交流イベント



日時 11/17 13:30-16:30
2023年 金 [開場 13:00]

会場 テクスピア大阪
[大阪府泉大津市旭町 22-45]

参加費 どちらも 無料・申込不要

※駐車場に限りがありますので、公共交通機関をご利用ください。

主催 | 大阪府、交野市、泉大津市
協力 | 交野市社会福祉協議会
運営 | 一般社団法人ひきこもりUX会議

詳細は中面へ▶▶

2023年
10/5 木
13:30-15:30

講演会 in 交野
講演会 当事者が語る
「ひきこもり」

不登校、ひきこもりの経験者2名の方から、当時の思いや、身近な人ができることや考えてほしいこと、支援についてお話しいただきます。講演のあとはUX会議の共同代表理事の林も加わり、会場からの質問にお答えしつつ3名でディスカッションをしていきます。

- 日時** 2023年10月5日[木] 13:30-15:30 [開場 13:00]
- 会場** 交野市立保健福祉総合センター(ゆうゆうセンター) 4階交流ホール
(大阪府交野市天野が原町 5-5-1) [JR河内磐船駅から徒歩約3分、京阪河内森駅から徒歩約7分]
- 参加費** 無料・予約不要 ※途中参加・途中退出ご自由
※気軽に参加いただくために予約不要としていますが、会場が定める定員に達し次第、入場を制限する場合があります。予めご了承ください。
- 対象者** ひきこもり当事者、ご家族、支援者、関心のある方等、どなたでも
- 定員** 500名

※駐車場に限りがありますので、公共交通機関をご利用ください。



登壇者
中谷 信哉氏

堺市在住。33歳。8年半ひきこもりだったが、家族、カウンセリング、精神科、サポステ等の助けもあり、一度諦めた生活を取り戻しつつある。当事者視点の企画マンを目指して、精神科や自助グループで居場所作りに携わる。



登壇者
高木 信洋氏

阪南市在住の31歳。15歳の時(2007年)より、10年ほどひきこもる。主に福祉と精神分野に関心あり。心のしんどさ、辛さの深まる仕組み、ひきこもる人の内面について考えることが多い。当事者団体『さなぎんど』で活動中。



司会進行
林 恭子

一般社団法人ひきこもりUX会議共同代表理事。高校2年で不登校、20代半ばでひきこもりを経験する。2012年から当事者発信を開始し、イベント開催や講演、研修会の講師などの当事者活動を行う。著書に「ひきこもりの真実—就労より自立より大切なこと」(ちくま新書)他。

15:45(予定)~
講演会后、
「小さな交流会」
を開催します

会場では、講演会終了後に交流会を実施します。ひきこもり当事者や経験者はもちろん、ご家族や支援者、地域の方など、ひきこもりに関心のある方で集まってみませんか。「こんな状態にあるのは自分だけではないか」「何かできることはないだろうか」と思う方たち同士でお話する中で、気持ちが軽くなったり、つながりが生まれる時間になればと思っています。お気軽にご参加ください。

- ◎講演会終了後、スタッフから交流会の会場をご案内します。
- ◎1時間程度を予定しています。
- ◎途中退出・休憩は自由です。

2023年
11/17 金
13:30-16:30

体験談と対話交流イベント in 泉大津
ひきこもりUX

第一部でひきこもり体験談を聞き、第二部で対話交流をする二部制のイベントです。ひきこもりの当事者同士、ご家族同士、支援関係者同士がまずはリラックスして出会い、自分の思いを話してみたり、ほかの人の話を聞いたりして対話や交流をする機会を開催します。

- 日時** 2023年11月17日[金] 13:30-16:30 [開場 13:00]
- 会場** テクスピア大阪 小ホール
(大阪府泉大津市旭町 22-45) [南海本線 泉大津駅から徒歩3分]
- 参加費** 無料・予約不要 ※途中参加・途中退出ご自由
※気軽に参加いただくために予約不要としていますが、会場が定める定員に達し次第、入場を制限する場合があります。予めご了承ください。
- タイムテーブル**

※写真はイメージです。

| | | | |
|---------------------|---------------------|----------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------|
| 第1部 | 13:30 14:15 | オープニング&ひきこもり経験者による体験談 定員 100名(先着順) 会場 小ホール | 非 交 流 ス ペ ー ス 305 会 議 室 |
| 14:15-14:30 | | 休憩 | |
| 第2部 | 14:30 16:15 | 対話交流セッション 小グループに分かれて対話交流を行います。 会場ごとに参加条件が異なるため、 [対象][定員] をご確認のうえ、ご参加ください。 | |
| | | ひきこもり UX当事者会 定員 40名 会場 302会議室 対象 ひきこもり・生きづらさ等の当事者・経験者 | |
| | | ひきこもり UX女子会 定員 40名 会場 301会議室 対象 女性(自認含む)の方でひきこもり・生きづらさ等の当事者・経験者 | |
| | | つながる 待合室 定員 100名 会場 小ホール 対象 ひきこもり状態のご家族がいる方、支援に携わっている方、[ひきこもり]に関心がある方(当事者の方も参加可) | |
| 16:15 16:30 | | クロージング 定員 100名(先着順) 会場 小ホール | |

※時間は目安です。当日、内容に変更がある場合があります。 ※2部は途中休憩を挟みながら行います。休憩時に他会場への移動も可能です。



第1部体験談スピーカー
石崎 森人

幼い時から生きづらさを抱え、20代で2年半ほどひきこもる。生きづらさやひきこもりを脱した経験を活かし、執筆や講演などを行っている。「ひきボス」編集長。